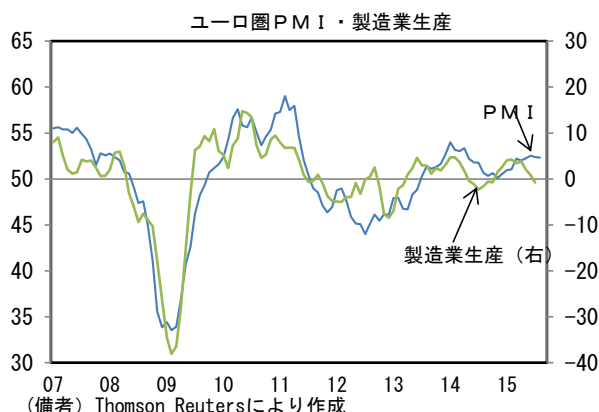


## 【海外経済指標他】～ユーロ圏：弱さが誇張？～

- 7月ユーロ圏鉱工業生産は前月比+0.6%と市場予想(+0.3%)を上回ったうえ、前月分(▲0.4%→▲0.3%)も上方修正された。ただし、製造業生産は+0.4%と弱く、3ヶ月平均でも▲0.1%となお基調は下向きで、同項目の3ヶ月前比年率は▲0.8%に落ち込んでいる。もっとも、PMIや他の景況感指数から判断すると生産統計は弱さが誇張されている可能性があり、実勢は前期比横ばい程度とみられる。



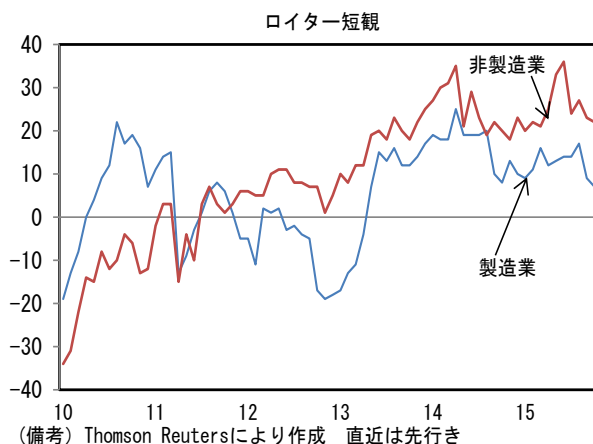
## 【海外株式市場・外国為替相場・債券市場】

- 前日の米国株は反落。FOMC結果発表を17日に控えて持高調整。欧州株も総じて軟調。
- 前日のG10通貨はAUDが最強でそれにJPYが続いた。反対にEURは弱く、USDの強さは中位程度。AUDの強さは、豪与党の自由党総裁選で現首相のアボット氏を退けてターンブル氏が当選したことによるもの。USD/JPYは一時120を割れる場面もあったが、反対にEUR/USDは1.13前半まで下落した。
- 前日の米10年金利は2.183%(▲0.5bp)で引け。FOMCを控えた様子見姿勢から動意に乏しい展開。原油価格下落が期待インフレ率低下を通じて金利低下圧力となるもその効果は限定的。欧州債市場は総じて小動き。独10年金利が0.655%(+0.2bp)で引けほか、イタリア(1.853%、+1.9bp)、スペイン(2.123%、+1.4bp)も小幅な値動き。

## 【国内株式市場・経済指標他】

- 日本株は、日経平均が過去3営業日に800円超下落した反動から反発していたが、日銀会合の結果が伝わると上昇幅を縮小。
- 9月ロイター短観によると製造業DIは+9と8月(+17)から大幅悪化したうえ、先行きも+7と更なる軟化が見込まれた。ロイター短観は日銀短観の先行指標として、特に四半期末は重要視されるが、製造業DIは6月対比で7ptも悪化しており、これは言うまでもなく日銀短観の大企業製造業業況判断DIの悪化を示唆する。コメントでは中国経済の減速懸念を筆頭に海外の受注不振を指摘する声が目立った。非製造業も同様、9月のDIは+23と8月から4pt軟化した。一見するとまずまずの水準を確保したようにみえるが、6月対比では13ptも悪化しており、この下落幅は東日本大震災に見舞われた2011年3月から6月に等しい。コメントでは「消費の冷え込み」、「株の乱高下もマイナスに影響」といったネガティブな

ものが目立っており、これは概ね景気ウォッチャー調査と整合的だ。日銀短観の非製造業判断D I も悪化する可能性が高いだろう。日銀短観はその知名度の高さ故、D I が悪化すること自体が景気に悪影響を与えるため、注意が必要だ。



- ・本日の日銀金融政策決定会合では大方の予想どおり金融政策の現状維持が決定された。筆者は10%程度の確率でサプライズ緩和を見込んでいたが、日銀はそれを選択しなかった。
- ・声明文では景気の総括判断こそ「緩やかな回復を続けている」と据え置かれたが、数箇所下方修正がみられた。①冒頭の総括判断部分に「輸出・生産面に新興国経済の減速の影響がみられるものの」が加わったほか、②輸出・鉱工業生産は「このところ横ばい圏内の動き」と8月までの「持ち直している」から下方修正された。個人消費は「底堅く推移している」として据え置かれたが、7月までのデータのみをみれば、この文言は幾分楽観的に感じられる。8月データが精彩を欠けば、下方修正される可能性があるだろう。そこに軟調な日銀短観が加われば、景気の総括判断も下方修正が必至だ。今後の展開については、黒田総裁の会見を精査してから判断したいが、8月分のハードデータと日銀短観が発表されてから最初の会合となる10月7日が注目される。市場のムードが好転していなければ、そこでも10%程度の確率でサプライズ緩和があるだろう。

<主要株価指数>		
	終値	前日比
日経平均※	18073.05	107.35
N Y ダウ	16,370.96	-62.13
D A X (独)	10,131.74	8.18
FTSE100 (英)	6,084.59	-33.17
CAC40 (仏)	4,518.15	-30.57

<外国為替>※		
USD/JPY	120.02	-0.22
EUR/USD	1.1326	0.00

<長期金利>※		
日本	0.372 %	0.008 %
米国	2.183 %	-0.005 %
英国	1.852 %	0.023 %
ドイツ	0.655 %	0.002 %
フランス	1.060 %	0.001 %
イタリア	1.853 %	0.019 %
スペイン	2.123 %	0.014 %

<商品>		
N Y 原油	44.00 <sup>ドル</sup>	-0.63 <sup>ドル</sup>
N Y 金	1107.50 <sup>ドル</sup>	4.20 <sup>ドル</sup>

※は右上記載時刻における直近値。図中の点線は前日終値。  
(出所) Bloomberg

(円) 日経平均株価 12:46 現在

(ドル) N Y ダウ平均株価

USD/JPY

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。